

教育文化部会

今年の講演会は、国上山の麓、石港地内の河川敷で発掘調査を実施している「石港遺跡」について、燕市教育委員会 松島学芸員から出土した遺品をもとに講演を行っていただきました。100年前に行われた「大河津分水路工事」で使用されたと思われるレールや犬釘等も多数出土していることも紹介していただきました。



体育健康部会

今年で4年目になる、分水小学校6年生を対象にした認知症サポーター養成講座を実施しました。この講座は児童から認知症サポーターになってもらい、登下校時や放課後の外出時に認知症と思われる高齢者を早期に発見し、安心・安全に繋げることを目的としています。



座学の様子



認知症についての絵本を朗読



声かけ訓練

編集後記

感染症の分類が変わったことにより対面方式での事業が実施可能となりましたが、まだまだ感染される方がいます。いつになったら感染症を心配しないで行動できるのでしょうか。

私も能登半島地震の3日後に、急な発熱があり医療機関に受診して検査を受けたらコロナウイルス陽性と判定されました。発熱は翌日には平熱に回復しましたが、家庭内では5日間隔離の日々を過ごしました。予防接種を7回も受けていながらも感染してしまいました。皆さんも十分注意してください。

分水小学校区

まちづくり協議会広報

第26号

令和6年3月31日発行

まちづくり協議会だより

分水小学校区
まちづくり協議会
会長 若林 久

コロナ禍もようやく終息の兆しが見えてきた1年でした。様々な規制や制限が解除され、本協議会も本来の活動ができるようになりました。この間、地域の皆様方にはご不自由とご不便をおかけしたにもかかわらず、心温まる多大なご支援・ご協力を賜りましたことに厚く御礼を申し上げます。

「天災は 忘れたころにやって来る」(寺田寅彦)。正月元旦、能登半島地震がお屠蘇気分の私たちを奇襲しました。年始回りの最中、急ぎ帰宅して被害状況を確認しました。その後、輪島市や珠洲市等からのテレビ中継映像に唖然とさせられました。同時に不安もよぎりました。「次は私たちかも知れない！」佐渡西方沖海底のみならず、分水地区の周辺には大地震を引き起こしそうな活断層が何本もあり、巨大なエネルギーが蓄えられているとのこと。近接する源八新田の地下をはしる活断層もその1つと地震学者は指摘します。併せて、能登地方同様に当地も「少子高齢化」が進み、より一層の被害拡大が懸念される社会状況にあります。

そこで、今回の地震を教訓に本協議会活動の意義やあり方等を「防災」の視点から見直し改編していかなければなりません。それを基に、確かな人間関係づくりを柱とした諸活動を充実させ、「共助」の確かな精神が醸成される地域づくりの組織・団体を目指していきたいと考えます。これからも「支え合い 笑顔をつなぐ まちづくり」の本協議会スローガンの具現化に向けて邁進してまいります。格別・格段のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和5年度 総会開催

5月8日からコロナ感染症も5類に分類され対面方式での開催が可能となりました。それを受けて5月28日(日)に分水福祉会館で令和5年度総会を開催しました。

総会当日は鈴木燕市長を来賓に迎え、31人の自治会長・協議会役員が出席され43名の方々から委任状の提出をいただき、提案した議案全てを承認していただきました。



各部会の主な活動報告

5月から感染症対策も分類が変更され、令和5年度は各部会とも感染拡大防止を徹底した中で事業を実施しました。また、多くの参加者が見込まれる事業については、感染防止の観点から事業実施について、役員会で検討をした中で中止しました。

総務部会



燕市より委託を受けている樹木幹回りの草取り。春には「おいらん道中」「さくらマラソン」のメイン会場となり、秋には小学校等の「遠足」の場となる「大河津分水さくら公園」の草取りを実施しました。

分水福祉会館指定管理



燕市から指定管理者として維持管理している分水福祉会館。今年度から施設を利用している団体の協力を得て施設周りの草取りを行っていただきました。

環境美化部会

国道116号線から分水市街地に入る十字路にある花壇。春と秋に花の苗を植替えて、通過するドライバーを和ませています。



おいらん道中前日(4/15)に開催された「さくらマラソン」。野中才裏堤防道上のエイドステーションスタッフとして協力しました。



きれいに咲きますように

安全部会



分水小学校児童の安心・安全な登下校ができるように、当協議会が発会してから続いているボランティアです。区域内にお住いの人たちが市街地の要所要所に立哨して、子供たちに声掛けを行いながら見守っています。



子供達の見守りの様子



反省会（交流会）を開催



昨年度から実施している「防災フェア」。今年度は地震体験車も登場して震度7の揺れを多くの人が体験をしていました。くしくも1月1日に発生した能登半島地震の教訓となったのではないのでしょうか。また、日赤奉仕団による炊出し訓練を行い、来場された方々に「豚汁」と「おにぎり」の試食をしてもらいました。



会場風景



大人気の地震体験車



ホールでの講演会



炊出し訓練後の試食会